

げんでんつるが

特別号
2015年2月
第37号

敦賀発電所では、さまざまな緊急時の対応訓練を繰り返し行っています。

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所では、万一の災害に備えて、電源車や大容量ポンプ車の配備など安全対策を講じるとともに、どのような状況下でも迅速・確実に対応できるよう、夜間・休祭日も含め発電所近傍に常に要員が待機しており、日頃から訓練を繰り返し行っています。

地震や津波により全ての電源を失った場合に備えて、対応要員を常に確保しています

電源確保 要員

万一、外部からの電源や非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合に備え、必要な電源を確保するため、電源車の起動や電源ケーブルのつなぎ込みなどの訓練を行っています。



ケーブル搭載車からケーブルの引き出し夜間訓練
(平成27年1月14日)



引き出したケーブルを電源車に接続する夜間訓練
(平成27年1月14日)

訓練の実績

合計888回
(H23.4～H27.1)

水源確保 要員

万一、発電所のすべての電源がなくなり、原子炉や使用済燃料プールの冷却に必要な水の補給ができなくなった場合に備え、必要な水源を確保するため、大容量ポンプ車の操作や水中ポンプの投入などの訓練を行っています。



大容量ポンプ車のクレーン操作訓練と水中ポンプの投入訓練
(平成27年2月2日)

訓練の実績

合計776回
(H23.4～H27.1)



火災対応や発電所への多様な移動手段を確保しています

自衛消防 隊員

発電所のパトロール、火災発生時への備えは、24時間体制で行っています。



公設消防(敦賀美方消防組合)との連携による消防訓練
(平成26年12月11日)

訓練の実績

合計135回
(H23.4～H27.1)

災害対策 要員

緊急時に備え、いかなる場合でも発電所に参集できるよう、多様な移動手段を確保しています。



船舶による発電所への参集訓練
(平成26年12月6日)

訓練の実績

合計36回
(H23.4～H27.1)

事故収束活動を支援するロボットの操作要員の訓練を実施

当社の総合研修センター（敦賀市沓見）に設置した「原子力緊急事態支援センター※」では、万が一原子力災害が発生した際、放射線量の高い環境で作業員の代わりにがれきの撤去、弁の操作や現場の偵察などを遠隔操作で行う支援ロボットの操作要員の訓練を行っています。

（※平成25年1月に電気事業連合会の依頼を受けて開設）

支援ロボット 操作要員

訓練者数*

合計 374 名（H27.1 月末現在）

* 全国の原子力事業者の操作要員



ロボットからの映像を確認しながら遠隔で操作



ロボット操作のためのコントローラー

遠隔操作



遠隔操作ロボット

Warrior® (ウォリアー)

桜丸号 (サクラ1号)

PackBot® (パックボット)

■ 作業用（障害物の除去用）

Warrior® (ウォリアー)

- ・ 装備したカメラでリアルタイムに監視が可能
- ・ 約100kgの重量物を吊上げ可能
（幅約80cm、長さ約140cm、高さ約50cm
〔台車部のみ〕）

■ 偵察用（現場確認用）

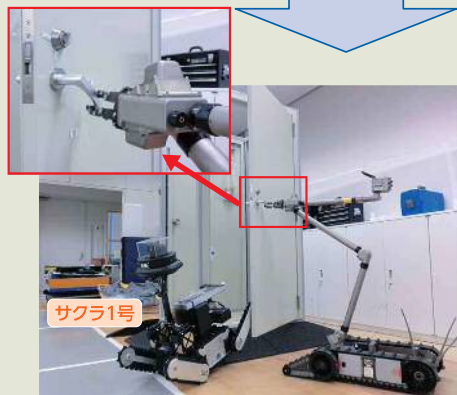
桜丸号 (サクラ1号)

- ・ 装備したカメラでリアルタイムに監視が可能
- ・ 放射線、温度等測定可能
（幅約42cm、長さ約66cm、高さ約89cm）

PackBot® (パックボット)

- ・ 装備したカメラでリアルタイムに監視が可能
- ・ 約14kgの軽量物を吊上げ可能
- ・ 放射線、温度等が測定可能
（幅約50cm、長さ約90cm、高さ約20cm
〔台車部のみ〕）

主な訓練内容



サクラ1号

ドアノブを掴んで扉を開閉

パックボット



ウォリアー

暗闇での障害物の撤去



ウォリアー

バルブの開閉操作



サクラ1号

電源盤スイッチの操作

パックボット



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）
敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。（<http://www.japc.co.jp>）